

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年10月28日
1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	14名

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
⑩	前回の課題について取り組みましたか?	1	10	3	0	14

前回の改善計画
・小規模の利用で何を望んでいるのかニーズをしっかりと把握し、ご利用者にとって必要な支援とご家族が出来る支援及びインフォーマルな支援を明確にする。

前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"> ・家族ができる事、事業所ができる事が整理できている。 ・住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるために本人の思いやニーズ、生活歴を把握し支援に繋げた。また、ご家族に関わってもらえるよう出来る範囲を確認し支援を共に考えた。 ・利用開始前に事前情報として入院・退院時サマリーや他事業所利用情報(状況)をできるだけ多く集め、ご利用者・ご家族の意向を確認した。 ・初回利用から3回目利用までの様子をフェイスシートに記入、アセスメントし職員間での情報共有や適切な支援に繋げた。 ・ご家族が望んでいるニーズとご利用者が望んでいるニーズに違いが生じているケースがあり、どちらのニーズを優先すべきか悩む事がある。利用者ニーズはもちろんだが家族の負担軽減が図れるような支援を考えていく事が必要だと感じた。

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	5	9	0	0	14
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	9	3	0	14
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	5	9	0	0	14
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	4	8	2	0	14

できている点	200字程度で、できていること、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> ・初回利用の方は不安だと思われるため声掛け、気遣いなど気を付けている。また、日々の関わりの中でコミュニケーションを大切にし職員、施設に慣れて頂けるよう心掛けた。 ・フェイスシートの活用、タブレット内容の確認する事で情報共有ができ適切なアセスメント、支援に繋げる事ができた。 ・訪問や通い時、不安感を軽減できるよう声掛けを行い、帰宅時にご家族に様子をお伝えしている。 ・ケアマネからの情報を通し利用開始前にご本人の情報・ニーズを把握できている。 ・毎月のミーティングの中でご本人のニーズに合った支援方法を職員間で共有できている。また、ご家族の負担軽減に繋がられるようなサービスの提供ができている。 ・新規利用者の方に対して初回～3日間の様子をフェイスシートに記入し、職員間で共有できた。 ・必要なサービスはご家族やご本人から聞き支援している。

できていない点	200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者の思いや希望を十分に引き出せていない事がある。特に認知症などで本人の意向を汲み取りにくい時の対応が難しい。 ・業務が優先になりご利用者とのコミュニケーションが取れない時がある。 ・ご家族とご利用者が望んでいるニーズが異なる時の解決策が見出せず悩む時がある。そのため家族支援の視点を学んでいく必要があると感じた。 ・初回利用のフェイスシートは通いの方のみ記入していたため、訪問のみの方についてどのように共有化を図っていくか検討が必要。 ・ご本人、ご家族が求める支援をすぐに提供できない場合がある。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	・初回から3回目まで記入するアセスメントシートを継続し情報共有する。利用者の思いを引き出せるようなコミュニケーションを図り家族支援の視点も持って関わられるようチームで取り組む。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年10月28日
2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	14名

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
⑩	前回の課題について取り組みましたか?	1	10	3	0	14

前回の改善計画

・職員間で「～したい」の実現に向けて具体的に話し合い、実現可能なもの、優先度の高いものなど決めて取り組んでいく。

前回の改善計画に対する取組み結果

・ご利用者とのコミュニケーションでは思いや希望を引き出せるよう意識して関わっている。具体的な事を言われている方に対し実現できるようミーティングを活用して職員間で情報共有した。
 ・情報用紙から生活歴等を情報収集したり、日々の会話の中から好きだった事(趣味や食べ物等)を引き出せるように努めた。
 ・「～したい」についてアンケートや暮らしの情報シートで思いを聞く事ができたが、職員間で共有できず一部のご利用者しか実現できていない。また、ご利用者の希望と現実に乖離がある場合の支援が難しい。
 ・「～したい」の実現に向けてご家族からの協力が必要な場合もあるため、お会いした際はコミュニケーションを図る事を心掛けた。
 ・今年度のチーム目標として「日々のアクティブ活動の充実」を上げ、アクティブ活動はほぼ実施できており、ご利用者の笑顔を引き出せている。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	0	6	8	0	14
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	9	5	0	14
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	8	6	0	14
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	10	2	1	14

できている点

200字程度で、できていること、その理由を記入すること

・日々の関わりの中でご利用者の「～したい」思いや希望を引き出し、職員間で共有し話し合っている。また、自己実現達成に向けてチームで目標を設定し取り組む事ができた。
 ・日々の会話から聞き取った思いや希望を記録に残しタブレットで共有し、ミーティングで振り返りを行っている。また、普段の様子で気になった事についてもミーティングで共有した。
 ・日々のアクティブ活動についてはほぼ毎日実施できている。
 ・安心した生活やご本人が満足するような援助を心掛けた。

できていない点

200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること

・アンケートを取っても周知が徹底されず職員間で共有できなかった。そのため全体で目指した関わりができていない。
 ・暮らしの情報シートの把握や更新が不十分だった。聞けていない人に対する対応が不十分であった。
 ・「～したい」という希望を聞き取れても身体的な理由や経済的等の理由で実現が難しい事もある。
 ・本人「～したい」が明確になっていないため、支援方法が不十分に感じる。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

職員間で「～したい」の実現に向けて具体的に話し合い、実現可能なもの、優先度の高いものなど決めて取り組んでいく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年10月28日
3. 日常生活の支援	メンバー	14名

◆ 前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
⑩	前回の課題について取り組みましたか?	2	11	1	0	14

前回の改善計画

・会話を通して以前の暮らし方を把握する。体調面だけでなく気持ちの変化が見られた場合は共有し迅速な支援に繋げる。

前回の改善計画に対する取り組み結果

・日々の関わりの中で良好な関係を築くと共に安心(満足)して頂けるような気持ちを引き出す工夫をした。また、変化があればすぐに職員間で共有し支援に繋げた。
 ・ご家族との会話の中からご本人の暮らしや好みを聞き取りご本人が望む生活に近づくよう支援した。
 ・訪問時は季節の会話などから話を広げ、身近な存在である事を認識してもらえよう努めた。
 ・会話の中から生活歴を聞く事はできたが、支援に繋げる事ができなかった。
 ・体調面の変化については日頃の様子と違う時は本人に体調確認、記録をし職員間で共有した。バイタル測定の数値だけで判断せずに日頃の様子や表情などをしっかり把握し気付けるよう心掛けた。
 ・日々の訪問で変化があった場合はタブレットに記入したり職員同士でその場で共有した。
 ・暮らしの情報シートを使った本人の終末期意向などを把握する事ができている。

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	2	10	2	14
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	4	10	0	0	14
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	10	3	0	14
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3	11	0	0	14
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	11	1	0	14

できている点

200字程度で、できていること、その理由を記入すること

・ご利用者との会話やアクティブ活動を通して昔の生活歴や習慣を聞き支援に繋げている。
 ・表情や言葉の変化に気付いたら記録に残し、職員間で情報共有している。
 ・ご利用者の言葉だけでなく表情も観察しながら関わりを持つよう意識した。
 ・フェイスシート、暮らしの情報シート、本人とのコミュニケーションなどを通して以前の暮らしを把握できた。
 ・本人の身体状況をチームでアセスメントし援助方法に繋げている。
 ・訪問先で体調の変化があった際はその都度支援できている。
 ・申し送りで大事な内容は職員間で共有し、統一したケアが行えるよう努めた。
 ・ふとした発言から何か変化はないか考えるようにしている。

できていない点

200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること

・ご利用者の以前の暮らし等について関わりの中から聞き取れず情報不足などところがある。
 ・認知症の進行などで希望や気持ちを上手く汲み取れない事があった。
 ・現在の生活状況が中心になってしまい以前の暮らし方について把握しきれていない。
 ・体調の変化は気付きやすいが本人の気持ちを理解するのは難しく思えた。
 ・生活歴をもとに利用者個々の支援に繋げる事ができていない。
 ・体調によるキャンセル連絡があった時に体調確認や訪問追加等の対応が十分でなかった。
 ・暮らしの情報シートで聞き取りをしているが活用が難しく活かしきれていない。
 ・業務優先になってしまい利用者との関りや会話が持てない事がある。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

・暮らしの情報シートを更新し、前年度との変化を確認する。
 ・普段の関わりの中では言葉だけではなく表情からも気持ちや変化に気付けるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年10月28日
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	14名

◆ 前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
◎	前回の課題について取り組みましたか？	0	6	7	1	14

・担当職員を中心に1対1で会話する時間を作り生活パターンなど知る。地域との関わりを継続できるよう支援内容を検討する。

前回の改善計画に対する取り組み結果

・担当職員が中心となり会話をする事でご利用者の生活リズムや過去の習慣・好きな事を把握でき、支援に繋がった。
 ・暮らしの情報シートを活用し生活パターン等からご利用者の支援に活かす事ができたが、地域との関わりまで結び付けられなかった。
 ・在宅での生活が継続できるよう地域資源の活用とご家族の協力を支援した。
 ・業務優先になってしまいご利用者と会話する時間が作れない時がある。
 ・ご本人が地域とどのような関わりを望んでいるか聞いていなかった。
 ・通いの時は会話の時間を作れたが訪問の時は援助優先になってしまう。
 ・地域との関わりを継続できるような支援についてはどうすればよいか分からなかった。

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	0	10	4	0	14
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	1	11	2	0	14
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	1	6	7	0	14
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	0	3	10	1	14

できている点

200字程度で、できていること、その理由を記入すること

・担当職員が中心となり会話する事でご利用者の生活リズムや過去の習慣・好きな事を把握できた。
 ・暮らしの情報シートを活用し、生活パターン等を収集し活かせるよう努めた。
 ・在宅での生活はご家族の協力が重要になってくるため、連携を図るよう心掛けた。
 ・担当ご利用者に対しては入浴時間やアクティブなどを通じて情報収集している。また、担当ではないご利用者について知り得た情報を担当職員に伝えた。
 ・訪問、通いでの様子や暮らしの情報シートを作成する事で少しは生活パターンを理解できていると思う。
 ・地域の小学校の運動会に参加し、地域社会と繋がれるよう努めた。
 ・訪問、通い時、時間がある時は1日の生活パターンやリズムを聞いている。

できていない点

200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること

・以前の暮らし方同様これまでの生活スタイルや人間関係について理解しきれていない。
 ・サービス提供時間以外の過ごし方をなかなか把握できない。(特に独居世帯)
 ・今利用している以外の地域資源を把握しきれていない。
 ・利用者がどこまで地域と繋がっているのか把握できていない。
 ・地域にどのような資源があるか把握できていない。
 ・時間がなかなか取れず細かな生活パターンまで聞く事ができていない。
 ・地域との関わりをどのようにしたら持てるか悩んでいる。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

・日々の関わりや支援の中で知り得た情報を職員間で共有し、在宅生活が継続できるよう活かしていく。また、地域との関わりが持てるような支援を行うため、地域資源についての理解を深める。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年10月28日
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	14名

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
⑥	前回の課題について取り組みましたか？	3	6	5	0	14

前回の改善計画

・ご利用者、ご家族それぞれが希望するサービスの擦り合わせを行い、支援が現状に合っているのか、本人は希望しているのかを共有する。小規模が提供するサービスとずれがある場合は定期的に話し合う機会を設け解消できるようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果

・ご利用者やご家族の要望に対して職員間で情報共有し現状に合った支援ができている。
 ・ご利用者とご家族で意向が異なるケースが多く、どちらの意向を優先してサービスを活用していくか苦慮する場面があった。
 ・管理者を中心としたどのような支援が必要なのか考え実施できている。
 ・自分が担当しているご利用者についてはケアプラン更新時等の場と同席して話す機会があり、ご利用者の声を直接聞けるため支援に繋げやすい。
 ・ご本人の希望より身体面や環境面の視点からの支援が優先になる場合がある。
 ・必要時にはご家族と連絡を取り話し合う機会を設けていた。
 ・ご利用者が契約時はサービスを受け入れていたが、支援する中で拒否が見られるケースが数件あり、対応に戸惑う事があった。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	3	6	4	1	14
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	3	11	1	0	14
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	4	10	0	0	14
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	4	10	0	0	14

できている点

200字程度で、できていること、その理由を記入すること

・変化に気付けるように日々の関わりを大切にして支援をしている。気づきや変化に関して意識して対応している職員を参考に行動している。
 ・ご利用者、ご家族それぞれの意向が合致している場合はサービス利用も円滑に行えており、職員間でニーズの把握や共有ができている。
 ・自費サービスや有償ボランティア等を活用し在宅生活を支援できている。
 ・タブレットを活用し、ご利用者の変化を職員で共有できている。
 ・急なサービスの追加等にも迅速に対応できている。
 ・小規模の特性を活かし、ご利用者の状況に応じたサービスを提供できている。

できていない点

200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること

・ご利用者、ご家族の意向が異なる時の対応が難しくどちらを優先して進めていけばいいか悩む事がある。
 ・十分な情報が得られず地域の資源にどのようなものがあるか把握できていない。
 ・独居、高齢世帯等ご家族の介護負担を軽減できるような地域資源がどのようなものがあるか把握できておらず活かしきれしていない。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

・ご利用者、ご家族それぞれのニーズを把握し、支援内容をチームで考えていく。日々の関わりから思いや希望を聞き取った際はご家族と情報を共有し共に考えていく。
 ・地域資源の理解を深め在宅生活が継続できるよう支援していく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年10月28日
6. 連携・協働	メンバー	14名

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
⑩	前回の課題について取り組めましたか？	2	4	6	2	14

前回の改善計画

・参加できる地域活動、会議には積極的に取り組んでいけるよう引き続き情報収集を行い、計画と体制をつくる。

前回の改善計画に対する取組み結果

・職員が参加できる時は積極的に参加し情報の共有を図っている。
 ・サービス機関との会議に参加できていないが、管理者等が参加した時は文章による周知で内容を共有している。
 ・地域の小学校の運動会に参加することができ、利用者の活性化に繋がったと思う。
 ・地域活動に参加できるよう事前に調べ計画を立案している。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか？	0	3	5	6	14
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	0	2	4	8	14
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか？	2	1	5	6	14
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	0	1	6	7	14

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・インターンシップを通し地域の若者が事業所を訪れ学んでいる。
 ・小学校の運動会に参加し交流を図る事ができた。ご利用者も地域行事に参加でき楽しみや喜びを感じて頂けた。
 ・ケアプラン更新前の担当者会議に同席し意見交換ができています。

できていない点

200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

・地域活動や会議に積極的に参加できていない。
 ・近隣に住宅が少なく地域の子供も少ないため、事業所に来る機会がない。
 ・見学以外の方が来られる事はほぼない。
 ・地域にどのような活動があるか情報を集めが不足した。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

・参加できる地域活動、会議には積極的に取り組んでいけるよう引き続き情報収集を行い、計画と体制をつくる。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年10月28日
7. 運営	メンバー	14名

◆ 前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	10	3	1	14

前回の改善計画

・より質の高いサービスの提供に繋がられるよう職員全員が考えミーティングなどで共有する。引き続き運営推進会議に参加する機会を設ける。

前回の改善計画に対する取り組み結果

・運営推進会議に参加し地域の方との関わりを学ぶ事ができ、情報交換も行えている。会議での意見をどのように地域に発信、活かしていけるか考えていく必要がある。
 ・運営推進会議には参加できていないが議事録には目を通し内容の確認はできている。
 ・毎月のミーティングで利用者ニーズや状態に応じたサービス、支援を話し合い検討している。また、業務改善の対策を検討した。共有事項に関しては厳守するよう努めた。
 ・ミーティング等に直接参加できた時は内容の把握ができるが書面での確認だけでは上手く伝わらない事がある。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	2	12	0	0	14
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	12	0	0	14
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	5	5	2	14
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	0	2	7	5	14

できている点

200字程度で、できていること、その理由を記入すること

・苦情、意見等についてはご利用者とご家族、職員(当事者)双方の話を聞いた上で対策を立案しており、個人の責任で終わらせるのではなくチームで共有し考えている。
 ・運営推進会議やミーティング開催後は議事録で内容の確認ができている。
 ・事業所の役割、職員としての役割についてミーティングを通して意見交換している。
 ・ミーティング時、職員個々が意見を発信する事ができている。
 ・意見があった時は職員間で情報共有に努め、次に繋がられるよう対策を立案した。

できていない点

200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること

・地域との関わりがあまり持てなかった。
 ・地域からの意見や苦情を聞く機会が少なく協働した取り組みが行えていない。
 ・地域に根付いた取り組みやそのための方向性を話し合う機会が少ない。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

・地域の方に知ってもらえるよう地域行事への参加やオレンジカフェ等のイベントを計画し、交流スペース(DH)を有効に使ってもらえるような取り組みを検討する。
 ・意見や苦情対応については双方の話しを聞いた中でチームで対策を考えていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年10月28日

8. 質を向上するための取組み

メンバー 14名

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
⑩	前回の課題について取り組みましたか?	3	8	3	0	14

前回の改善計画

- 積極的な研修の参加。ヒヤリハットを日々の業務に活かし事故防止に繋げる。

前回の改善計画に対する取組み結果

- 事故につながる危険があるケースに対してはしっかりヒヤリハットをあげ事故防止に繋げている。また、毎月のミーティングで報告し職員間で共有している。
- ヒヤリハットを通して事故防止策を具体的に理解できた。
- ヒヤリハットや事故報告は自らに置き換え同じ状況になった時を想定し考えるようにした。
- ACPの研修に参加し自己研鑽に努めたが現場で活かしきれていない。
- 施設内外の研修に参加し知識を深める事ができた。
- 研修については案内がきた際、興味のある職員が自主的に参加できている。

mi

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	3	8	3	0	14
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	3	5	3	14
③	地域連絡会に参加していますか	0	2	4	8	14
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	12	0	0	14

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- 施設内の研修は計画通り実施できている。参加できなくても資料配布の回覧で周知している。
- 事故防止研修に参加しリスクマネージメントの視点から取り組めた所と活かしきれていない所があった(対策を立てたが同じミスをした事例あり)
- ACP研修に参加しACPの考えについて理解を深める事ができた。
- ヒヤリハットの内容をタブレットで確認する事で情報の共有ができた。
- ヒヤリハットは同じ事を繰り返さないよう自分なりの段取りなどを考えて行った。
- AEDの講習会に参加した。今後も積極的に参加していきたい。
- 地域連絡会がどのような役割なのか分からない。

できていない点 200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

- 研修資料を回覧しているが、取り組みや内容について理解が不足している。
- 事故報告とヒヤリハットとの区別がつきにくい事例があり対策が必要(事業所や個人によって認識に違いがある)。
- ACP研修に参加したが現場で活かしきれていないのが課題。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- 施設内外の研修に参加し、スキルを向上させケアの質を高めていく。
- ヒヤリハットをしっかり分析し、対策を立て事故防止に繋げる。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年10月28日
9. 人権・プライバシー	メンバー	14名

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
⑩	前回の課題について取り組みましたか？	0	12	2	0	14

前回の改善計画

・情報共有や申し送り時は場所や声量に注意する。言葉以外でも職員の行動(オムツ交換など)でご利用者の状況が他者に気付かれてしまう場合もあるためプライバシーが守られているか普段の動きを定期的に振り返る。

前回の改善計画に対する取組み結果

・申し送り等は事務室で行い、声の声量や口調に気を付けているが笑い声を出してしまう事があるため注意しなければならないと思う。
 ・利用者に対しての接し方や関わり方が威圧的な態度にならないよう話し方含め意識している。
 ・事務室があるためプライバシーは保たれていると思うが情報共有を優先して利用者の前で申し送りをしている場面があり配慮が必要と感じる。
 ・他職員に利用者の所在を聞かれた時、同じ位の声量で「トイレに行かれました」等配慮に欠けた行動をとる事がある。
 ・共有スペースで利用者について話をしなければならない時はバイタル板の名前を指差し声には出さないよう配慮した。

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	12	2	0	0	14
②	虐待は行われていない	11	3	0	0	14
③	プライバシーが守られている	3	9	2	0	14
④	必要な方に成年後見制度を活用している	5	9	0	0	14
⑤	適正な個人情報の管理ができている	7	7	0	0	14

できている点

200字程度で、できていること、その理由を記入すること

・利用者に関わる際は利用者個々の性格やその日の様子を見ながら話しかけている。
 ・訪問に出る際タブレットの管理は意識して行っている(必ずカバンにしまう、車に置きっぱなしにしない、ログアウトする等)。
 ・必要な方が成年後見人を利用している。
 ・訪問順など個人情報をメモに記入し持ち出す時は伏字にして自分だけが分かるようにしている。
 ・入浴時、羞恥心に配慮した声かけ、気持ちに寄り添った対応をしている。
 ・言葉での抑制(スピーチロック)や身体拘束を行わないようにしている。
 ・利用者から他職員の事を聞かれる事があるので職員のプライバシー保護も注意した。

できていない点

200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること

・虐待に関しては明らかなケースだけでなくグレーゾーンも見かけたら声を出していく必要があるが知識不足もあり出来ていない事もある。
 ・職員のストレスも虐待に繋がるためストレス軽減できるようフォロー体制を構築していく必要あり。
 ・ご利用者の近くで他利用者の申し送りをしてしまう事がある。
 ・プライバシーや個人情報の管理については時々資料やメモが出っぱなしになっている事があるためお互いに気を付けていかなければならない。
 ・忘れないようにと場所や時間を考えず声の調整もせず話してしまう事がある。
 ・業務過多の時にスピーチロックや威圧的な声かけが見られる危険があるため職員間で声を出していく必要あり。
 ・タブレットやTeamアプリのログアウトが出来ていない事が多い。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

・職員間での申し送りは場所や声量、口調を意識して行う事を継続する。
 ・タブレットの管理方法について個人情報保護の観点から職員個々が意識して取り組む。